

山江村議会だより

# まるおか

No.73

(やまえ発見：春の訪れを告げる桜とツツジ)



丸岡公園のツツジ(H31.4 中旬撮影)

丸岡公園の桜(H31.3 下旬撮影)

## 写真の説明

丸岡公園は、3月には約200本の桜、4月には約5万本のツツジが咲き誇り、多くの見物客で賑わいを見せます。

特に公園入口に村章マークに植えられたツツジは絶景です。

## 目次

- 平成31年第1回山江村議会定例会報告
  - ・平成31年度当初予算 P2～P3
  - ・現地調査報告 P3
  - ・一般質問 P5～P10
- 平成31年第2回山江村議会臨時会報告 P11
- 議員活動の一コマ P12
- 編集後記「だんだんなぁ」 P12

平成31年4月26日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

# 一般会計当初予算 32億9千2百万円を全会一致で可決！

平成31年第1回山江村議会定例会は、3月6日～15日までの10日間の会期で開催されました。今回提案された議案の主なものは、議員発議1件、陳情1件、条例制定及び改正など8件、平成30年度一般・特別会計の補正予算6件、平成31年度一般会計・特別会計当初予算7件などを審議しました。

6日に開会后、平成30年度一般・特別会計の補正予算6件を先議可決。8日は、村内11か所の現地調査、7日及び11日～13日は条例・予算等の議案審議を行い、14日には一般質問で8議員が登壇し執行部を質しました。

最終日の15日に、平成31年度当初予算をはじめ、条例の制定及び一部改正、議員発議などについて質疑・討論・表決を行い、議員発議（選挙公報の発行に関する条例制定）を除く、全議案を原案どおり可決決定しました。

## 平成31年度 一般会計当初予算

### 歳入

【単位：千円】

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明（主な内容）
村税	209,821	204,506	5,315	村民税、固定資産税、軽自動車税ほか
地方譲与税	42,309	37,201	5,108	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税ほか、
利子割交付金	339	244	95	利子支払時の税の一部交付金
配当割交付金	581	443	138	上場株式配当時の税の一部交付金
株式等譲渡所得割交付金	10	10	0	株式譲渡時の税の一部交付金
自動車取得税交付金	3,231	6,000	△2,769	道路の延長と面積による交付金
環境性能割交付金	2,143	0	2,143	税制改正に伴う名称変更（自動車取得税）
地方特例交付金	600	600	0	減収による補填分の交付金
地方交付税	1,460,000	1,458,000	2,000	行政機関の均質的な水準確保のための交付金
交通安全対策特別交付金	466	631	△165	交通事故発生件数、人口による交付金
地方消費税交付金	51,700	52,600	△900	人口、従事者数による交付金
分担金及び負担金	13,753	16,709	△2,956	民生費負担金（保育料、老人福祉施設等）ほか
使用料及び手数料	46,047	47,360	△1,313	住宅使用料、山江村体育館使用料ほか
国庫支出金	452,231	343,141	109,090	各種事業における国からの負担金、補助金ほか
県支出金	198,710	198,541	169	各種事業における県からの補助金、委託金ほか
財産収入	30,937	4,750	26,187	土地建物売却収入、村有地貸付料、基金積立利子ほか
寄附金	12,000	12,000	0	山江村ふるさと応援寄附金
繰入金	234,726	219,321	15,405	財政調整基金・減債基金 ほか
繰越金	103,070	106,570	△3,500	前年度繰越金
諸収入	19,826	13,273	6,553	後期高齢者広域連合受託事業収入ほか
村債	409,500	336,100	73,400	道路新設改良事業、庁舎非常用電源整備事業、ケーブルテレビ施設整備事業、消防施設整備事業など
歳入合計	3,292,000	3,058,000	234,000	

### 歳出

【単位：千円】

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明（主な内容）
議会費	59,584	59,873	△289	議員報酬、議会運営費ほか
総務費	670,706	573,829	96,877	財産管理費、企画総務費、地域づくり研究所運営費ほか
民生費	613,497	629,344	△15,847	障がい者福祉費、老人福祉費、児童措置費ほか
衛生費	380,210	387,029	△6,819	子育て支援事業費、環境整備費、健康増進事業費ほか
農林水産業費	311,996	282,113	29,883	農業総務費、果樹振興費、林業振興費ほか
商工費	54,984	56,006	△1,022	企業誘致対策費、温泉センター運営費ほか
土木費	440,111	316,257	123,854	社会資本整備事業費、住宅管理費ほか
消防費	134,857	131,532	3,325	非常備消防費、消防施設費ほか
教育費	230,031	223,275	6,756	学校管理費、教育ICT環境整備費、公民館費ほか
災害復旧費	4,500	4,500	0	道路河川災害復旧費
公債費	370,266	375,769	△5,503	起債の償還
予備費	21,258	18,473	2,785	予備費
歳出合計	3,292,000	3,058,000	234,000	

## 平成31年度 特別会計当初予算

【単位：千円】

会 計	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内訳			
				特 定 財 源			一 般 財 源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
国民健康保険事業	388,000	462,000	△74,000	279,845	0	0	108,155
簡易水道事業	160,000	159,000	1,000	0	0	49,281	110,719
農業集落排水事業	135,000	136,000	△1,000	0	0	35,750	99,250
介護保険事業	440,000	437,000	3,000	183,807	0	115,291	140,902
後期高齢者医療事業	35,000	35,000	0	0	0	13,806	21,194
ケーブルテレビ事業	92,500	100,000	△7,500	0	0	25,407	67,093

## 公共工事現場等を調査！ (平成30年度完了、平成31年度予定事業)

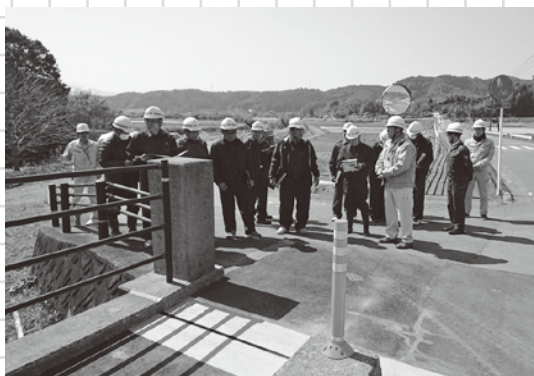
議会定例会3日目の8日（金）は、午前9時から9月議会定例会に行った現地調査以降のやまえ栗加工施設建築工事をはじめ、日当地区耐震性防火水槽新設工事、村道岩ヶ野板野線道路舗装補修工事など、合わせて11事業か所を巡回し、施工の状況や予定事業の計画について、事業担当課から説明をうけるなど現地調査を行いました。



村道古敷金ノ平線道路改良工事



林道屋形線1号箇所災害復旧工事



村道山江錦線橋梁補修工事（古賀橋）



やまえ栗加工施設建築工事

# こんなことが決まりました

## 丸岡公園農村広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

農村広場を使用する際、新たに使用料を徴収するものです。今までは無料でしたが、午前（8：00～12：00）1,500円、午後（12：00～17：00）1,500円となります。

## 山江村総合振興計画の策定

むらづくりを進めるうえで最も上位に位置づけられる計画であり、むらづくりの目標とその実現に向けた方策が示されており、基本構想として、期間を2019年度から2028年度までの10年間としてあります。

基本理念 ①愛着と誇り  
②つながりと活力  
③豊かな暮らし

今後、村内全世帯へ完成版が配布される予定になっています。

## 山江村の宝「やまえ栗」条例の制定

「やまえ栗」ブランドを村民の誇りとし、日本一の栗の生産地としての確立を目指すために制定されました。村の役割、村民の役割、生産者の役割が掲げられている他、「やまえ栗の日」を9月27日に定めてあります。これは、「やまえ栗」が昭和天皇に献上された日が由来となっています。

## 条例の一部を改正する条例の制定

- 山江村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 山江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- 山江村多目的交流促進施設「ほたるの荘」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 小山田農村公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 山江村文化財保護委員会設置条例の一部を改正する条例の制定

## 議会を傍聴してみませんか。

村民の皆様には、議会傍聴（議場）にぜひ参加いただき、ご意見等をお聞かせ下さい。次回の議会定例会は6月開催です。日程等の問い合わせは、議会事務局までお願いします。TEL:23-3401



## 8人が登壇！ 村執行部に問う！！

(一般質問者)

質問順	議員氏名	質問事項	ページ
1	森田 俊介	○行政事務職など非正規公務員の待遇改善について ○児童虐待の緊急対策について ○平成30年の自然災害での復旧、復興の状況について	5～6ページ
2	横谷 巡	○組織団体等運用の「制度疲労」に対する新たな制度改革について ○「合戦峯物産販売所」の運用状況について ○「子どもの命を守る」万全の対策の必要性について	6～7ページ
3	秋丸 光明	○カメ石・ワクス石・ハナグリ石について ○太陽光を利用したソーラーパネルについて ○温泉センターについて ○宿泊施設ホテルについて	
4	中竹 耕一郎	○取り巻く諸課題について	7～8ページ
5	谷口 予志之	○村道及び作業道等の改良及び維持管理について ○台風24号による河川への倒木処理について	8ページ
6	松本 佳久	○エネルギーの自給計画について ○土地利用計画について ○役場新庁舎の建設計画を進めてはどうか	9ページ
7	立道 徹	○やまえ栗の生産について ○農事組合法人「万江の里」について ○児童虐待防止について	9～10ページ
8	西 孝恒	○学校屋外や公園等の管理作業の状況について ○子育て支援事業他について	10ページ

※議会だよりは、文字数が限られているため、一般質問内容のすべてを掲載していません。  
また、各議員より提出された原稿のまま掲載しております。

**質問** 山江村での臨時職員、非常勤職員、学校給食調理員、ケーブルテレビスタッフ、建設課作業員、各種運転手などの職員は、各人材派遣会社に委託していると聞かすが、派遣会社は何社か。また、契約期間はどのようになっているか。

**答弁** 学校給食調理員をはじめ、ケーブルテレビスタッフ、建設課作業員、各種運転手などの職員は、業務委託職員として従事しており、臨時・非常勤などの非正規職員として任用していない。派遣会社3社と業務委託契約を締結しており、契約期間は、平成29年度から平成31年度までの3年間である。

行政事務職など非正規  
公務員の待遇改善について



森田 俊介 議員

**質問** 2020年4月からの任用制度変更に向けた準備の状況及び人材派遣会社との情報交換や協議は、どのように実施しているか。

**答弁** 2020年4月より、会計年度任用職員制度がスタートする。任用をフルタイム任用職員とパートタイム任用職員に分け、採用する場合は、試験及び選考会を実施する。採用期間は、1会計年度となる。

2019年度中に制度制定に向けて事務を行い、2020年4月1日施行へ準備を進める。人材派遣会社とは、随時協議や情報交換を行っているが、平成31年度で契約満了となる。次年度以降の契約に向け、派遣職員の意見も取り入れながら、人材派遣会社との協議委託を継続する意向である。

## 児童虐待の緊急対策について

**質問** 「しつけ」と称した体罰が虐待につながった事例は少なくない。県内の児童相談所は熊本市中央区、東区、八代市内の3ヶ所にあるが、村民は知っているのか。県は児童福

祉士職員の増員や人吉球磨管内に設置する考えはないか。もし、虐待が発覚した場合の相談や連絡体制はどのようになっているのか。

**答弁** 情報収集、情報交換、家庭支援対策等、虐待及び問題解決については協議を行っている。人吉球磨地域には児童相談所は設置されていないが、今後、設置に向けて検討していく予定である。

## 平成30年の自然災害での復旧、復興の状況について

**質問** 台風24号をはじめとする自然災害の被害状況について、風倒木の処理はどうのように行うのか。万江川や山田川の流石などの除去が手つかずの状況であるが、除外地域調査は実施したのか。また、流木、倒木が妨げになっている箇所があるが、現地調査は実施したのか。

**答弁** 倒木の処理については、まず、土地所有者による処理をお願いしたい。除外地域の調査については事前調査を行い、村内18ヶ所の河川掘削を要望している。埋立地の選定までは至っていない。

**要望** 早急に対応をお願いしたい。

万江川では、淡島地区の大木の倒木、山田川では、尾崎地区の流木や倒木が目につく状況である。関係者の了解が必要だとは思いますが、早急な処理が求められる箇所もあるので、早めの復旧対策を強く望む。



台風による倒木（淡島）



横谷 巡 議員

## 行政組織・団体等の「制度疲労」の改革の考えは

**質問** 村制施行130周年の節目に、行政区や消防団等の組織団体にみられる「制度疲労」の事案について、これから先のあるべき村づくり、効果的に運用・対応が出来る新たな制度への改革を図る考えはないか。

**答弁** 村制施行130周年行事の各種シンポジウム、イベント、式典等の中で、いろんな議論をさせていたきたい。地区の問題についても、行財政改革推進委員会等の関係機関と協議をさせてもらいながら、対応をしていきたい。

**質問** 人口減少や過疎化で、機能、活動、コミュニティの維持など、厳しい現状下にある行政区や消防団の再編についての考えは

**答弁** 行政区については、地区の懇談会等で地域の皆様の意見を伺いながら、課題解決に向け検討をしていきたい。消防団については、各分団の団員数においては地域によって偏りがあり、団員確保や再編について内部協議を行っているが、進んでいないのが現状である。

## 合戦峯物産販売所の運営状況について

**質問** 地方創生拠点整備事業として昨年7月落成、9月から開館運営しているが、現状は閉館が多く、落胆の声が聞かれる。開館日数、農産物の販売状況、施設の管理などについて伺う。

**答弁** 事業費は関連の事業費を含め、5300万円である。開館日数は7ヶ月で9日間、農産物販売額は30万円、施設の管理は、地域の合戦峯物産販売所管理組合に委託している。

**質問** この物産販売所は、春秋彼岸の観音めぐりの時だけ開館するのかわ？年間を通して、幅広いお客様を対象にした施設なのかどちらなのか伺う。

**答弁** 外部からの交流人口の拡大、地域での仕事の創出などに繋げる目的で整備したものであり、年間を通して物産販売を行う目的の施設である。

**質問** 答弁された内容と実態は非常に違っている。開館日数を多くして、多くのお客様に喜んでいただき、地域に元気を与える物産販売所

となるように、地元管理組合に指導する考えはないか。

**答弁** 地方創生拠点整備交付金の目的に沿って、確実に実現する必要がある。施設の運営方法、仕組みづくりについて地域の方と十分に協議したい。

**質問** 地域の活性化、農家所得の向上、利益を上げる施設になっているか、本来の地方創生拠点事業の目的を達成していると思うか。

**答弁** 現在、地方創生拠点事業の目的に達しているかといえば難しいと思うが、今後、目的に達成するように、物産販売、交流を深めるなど、地域の方々と協議しながら施設運営を支援していきたい。

**質問** 村の公共施設として、費用対効果、採算性など今後どのように運営されていくのか、方向性について伺う。

**答弁** 整備の目的をしっかりと再認識し、地域の活性化、所得向上、開館日数と農産物生産量の増加など、費用対効果等も含め、しっかりと検証していく。

## 児童虐待事件の増加から「子どもを守る」万全の対策は

**質問** 家庭が複雑多様化した今、子ども時代の愛着関係の記憶に乏しい親たちが、子育てに苦悩し、孤立し、閉じこもり、時には虐待に走るといわれている。

そのような家庭の姿の確認、ドメスティックバイオレンスなどの事実や子どものSOSサインを見逃さず、各関係機関と情報共有の強化を図り、日常の業務体制から本気で虐待から守る万全の対策と覚悟が必要と考えるがどうか。

**答弁** 学校に虐待等に関する担当を置き、地域の人材の協力をいただきながら、家庭教育支援チームを立ち上げ、保護者、地域の方々から発生されるSOSサインをいち早くキャッチして、虐待の未然防止、早期発見、早期対応に万全を期してまいりたい。

## 取り巻く諸課題について

**質問** 発達障害等の子供たちの将来に向けてどのように支援しているか。

**答弁** 児童生徒の自立、社会参加に向けた主体的な視点に立ち生活や学習上の困難を改善、克服すべき適切な指導、支援を行っている。

**質問** 増えつつある支援学級に対応する協議会の動きは。

**答弁** 年3回程度開催している。各学校にコーディネーターを配置し対応している。

**質問** トライアングルプロジェクトの地方版策定の構想は。

**答弁** 関係機関との連携を強化して自立に向けた切れ目ない支援を行なっていく。

**質問** 義務教育終了後、高校での支援策は。

**答弁** 特別支援学校で障害に応じた教育を受けることになる。

**質問** 「まちひと仕事」ではなく「仕事ひとまち」ではないか。地方創生の認識は。

**答弁** 仕事があるから人が集まり町が活性化できる。次期は「地方



中竹耕一郎 議員

創生わくわく地方生活実現政策パッケージ」でしっかり取り組んでいく。

**質問** 人材の育成では都市部からの確保は。

**答弁** インターン制度、学生ゼミの誘致を検討する。

**質問** 人材確保、養成の観点から職員の中途採用の意向は。

**答弁** 有益であれば採用もある。

**質問** 高齢化した高齢者が1人暮らしになる可能性があるが、低家賃で暮らせる住宅の仕組みづくりが必要では。

**答弁** 民間の投資を含めて賃貸住宅も視野に入れて生活支援を図る。



谷口予志之 議員

## 村道・大平戸屋線の改良計画について

**質問** 村道大平戸屋線は、大平集落から戸屋集落までつながる山田と万江を結ぶ重要な村道である。延長、幅員、また通行状況や災害時の迂回路としての利用状況等はどうか。

**答弁** 延長が5687m、幅員は約3.6m、災害時の緊急避難迂回路、生活道路としての利用のほか、森林からの木材の搬出などにも利用され、大型車両の交通もある状況。

**質問** この路線に係る利用区域面積、森林の資源の面積や蓄積等は。

**答弁** 利用区域面積は216.14ha、人工林の面積は165.66ha、蓄積等は、広葉樹も入れると計の6万9308m<sup>3</sup>といった状況である。

**質問** この大平戸屋線、それに接続する路線について、今後の林業の振興、山村集落の生活環境の向上、災害時の迂回路としての通行の安全性を考え、急カーブの改良や離合所の増設の考えは。

**答弁** 災害時の迂回路や大型車両の交通も考慮し、施工可能な場所であるか、地権者の協力が得られるか検証しながら今後も検討していきたい。

## 既設作業道等の維持管理について

**質問** 山江村内にどれだけの森林の作業道が開設されているか、それと、通行できない路線数や延長等がどれだけあるか。

**答弁** 球磨川流域森林計画の資料によると、路線数が264路線、延長が26万9096mとなっている。通行ができなくなった作業道は、把握できていない。

**質問** 森林環境譲与税を利用しての作業道の維持管理に対する助成や補助はできないか。

**答弁** 森林所有者の意向調査を行い、管理されなくなった森林における作業道についても管理・整備できるように取り組みを作っていく。

**質問** 山江村林業対策検討委員会において、森林環境譲与税の用途など検討されるのか。

**答弁** 森林所有者等と一体となつて、地域の実情に応じた森林整備等に係る管理、不十分な作業等に対する支援も検討し、協議しながら対応策を考えていきたい。

## 台風による河川への倒木処理について

**質問** 台風24号による村内の森林では、どのような被害状況だったか。

**答弁** 風の通り道と思われるところで部分的に倒木が発生しており、大規模なものはないが、民有林を含め被害としては、10haから20ha程度と報告をうけている。

**質問** 河川への倒木は早急な対策が必要と思うが、村長の考えは。

**答弁** 河川への倒木は二次災害を起こし非常に危険性もある。河川管理者も含めて、国・県へ大きな課題として捉えてもらえるように要望をし、いろんな方法で検討をさせていただく。



倒木の状況



# 一般質問



松本 佳久 議員

## エネルギーの 自給計画について

**質問** 熱や電気などエネルギー自給の村を目指す考えはないか。

**答弁** 平成28年に山江村総合エネルギー検討委員会を設置し、エネルギーを自給できる村を目指している。検討委員会の答申に基づき、平成31年度は、温泉「ほたる」に木質ボイラーを導入する場合のシステム構築費として500万円の予算を計上している。1年間の効果として、①温泉の重油燃料費削減620万円、②木材・チップの調達費など林業の振興等370万円の経済効果を期待している。今後は、木質チップの製造機械を購入するなど、重油燃料費等で他所へ出ていく費用をできる

だけ村内で循環させていく計画である。村全体で省エネの推進、再生可能エネルギーへの転換を進め、安心安全で持続可能なエネルギー獲得に向けて努力し、将来は、地産地消でエネルギーを自給できる村を目指す。村から外へ出ていく年間の電気料等は、約3億5000万円であり、エネルギー自給率を高めれば電気料も安くなる計算も成り立つ。エネルギー検討委員会では、原子力発電や化石燃料発電からの代替エネルギー発電の確保が進めば、結果として原発に頼らない山江村が実現できると熱心な協議が続けられている。

## 土地利用計画について

**質問** 山江村内に宅地を造成して定住人口を増やす考えはないか。

**答弁** 宅地として活用できる村有地は少ないが、宅地開発は定住人口増大のための重要な政策と位置付けています。緩やかな傾斜の山林原野や平坦部、集落内の空き家の活用も含め、山江村総合振興計画に宅地確保政策を位置づけ進めていく。

## 役場新庁舎の建設計画を 進めてはどうか

**質問** 昭和55年に現在の役場庁舎へ移転してから約40年が経過しているが、10年後程度を目途に新役場庁舎建設を進める考えはないか。

**答弁** 村内の公共施設については、山江村公共施設等総合管理計画に基づき長寿命化を図りながら管理している。役場庁舎については、耐震診断・改修を終えており、屋根や壁の防水工事も完了していることから、全体的に健全であると認識している。本年度事業で非常用設備電源も設置し、今後も定期的な点検を実施しながら劣化状況等を適切に把握し、必要な修繕更新を行い施設の長寿命化を図る。現在のところ、新庁舎の建設は考えていない。



立道 徹 議員

## やまえ栗について

**質問** 現在の生産高・生産農家数は。

**答弁** 栽培面積は120ヘクタール、生産量は約101tで、生産農家は250名程である。

**質問** 今後の課題、担い手・後継者について。

**答弁** 農業経営者は70歳以上が60%を占めており、10年先では80%以上を占めると推測され、生産量の確保も難しい状況である。今後、栗の生産組合や農事組合法人等への受託も含め、担い手の確保及び若手担い手の育成に努めることも必要であり、やまえ栗生産向上推進委員会を立ち上げ、関係機関と連携し、反収を増やす取り組みを行っている。新植など栽培面積を増やすための取り組みも検討していく。また、外部から山江の栗を生産してみたいという人に募集をかける他、地域おこし協力隊の活用も出来れば良いと考えている。

**質問** フランスのパリとのやまえ栗の取引状況及び今回のシンガポールに派遣された目的と人員構成について。

**答弁** フランスは、現在も取引商談中である。シンガポールについて

は、やまえ栗のブランディング事業の戦略の一つとして海外での流通及びブランディングを目的とした事業であり、参加者は栗の生産者（村民の方）・二つの事業所・職員・コンサル（委託）の5名。旅費等の経費は地方創生推進交付金を活用しており、今後は販路拡大に向けてブランディングの推進を図る計画である。

**質問** 生産者の所得が向上し、生産意欲が高まるような海外戦略はできないか。

**答弁** PR、ブランド化を進める上で、今後、品質のよいやまえ栗を輸出していけば単価も上がり、所得の向上にも繋がると考えている。

## 農事法人組合 「万江の里」について

**質問** 現在の経営状況及びどのような事業に取り組んでいるか。

**答弁** 平成30年7月8日の第1回総会では、黒字経営となっており、事業内容は、水稻栽培、大麦栽培、カボチャやタマネギ、ハウス栽培等にも取り組んでいる。

**質問** 現在の補助金について。  
**答弁** 山江村の支援として、法人の

運営補助金として平成29年度に300万円、平成30年度200万円。県の補助は、平成29年度に54万2千円、30年度に283万9千円。合計で783万9千円である。

**質問** 解散となった場合は補助金の返済は。

**答弁** 返還していただく可能性も出てくる。

**質問** 今後の経営目標・方針・課題について。

**答弁** 法人で検討されることであるので答弁は控える。村としても補助金の支援、理事会への参加をしており、また、県も連携し、支援のプロジェクトチーム会議を開催し、支援に向け検討をしている。農地集積等を進め、農地の区画拡大による経営の安定と効率化、将来に向けた機械搬入等に係る資金計画などの月別収支計画の作成、早急な人材育成も必要である。



西 孝恒 議員

## 学校屋外や公園等の 管理作業の状況について

**質問** 学校屋外や公園等の管理作業の状況について。

**答弁** 快適な教育環境を実現するためには、学校施設内外の環境を整備推進し、環境美化に対する認識を深め、実践していくことが大切である。校庭内の除草作業など各学校とも年間に10〜15回実施している。

丸岡公園の管理は3種類に分けて委託している。除草を年6回、剪定を年1回実施、農村広場は除草を年20回、清掃を週2回するものである。他にトイレ等あり、合計委託料として約620万円である。

**質問** 除草剤についての考えは。

**答弁** 学校敷地内での除草作業については除草剤は使用していない。また今後も使用しない方針である。公園の除草剤の使用も自然環境保護の観点から好ましくないと考える。安心して利用できる公園を維持していきたい。よって除草剤の使用は考えていない。

## 子育て支援事業について

**質問** 本村における乳幼児から児童生徒の歯の健康状態について。

**答弁** 県内の統計によると、年齢の増加とともに虫歯が増加する傾向であり、全国や熊本県と比べると山江村はまだ多い状況にある。

**質問** 本村の虫歯対策とフッ化物洗口について。

**答弁** 平成13年度から村内二つの保育園がフッ化物洗口を実施している。小中学校はH26年度から国の補助事業を受けて、希望者を週1回実施している。成果として減少傾向にあるが、全国や熊本県と比較すると多い方である。

**質問** 各種の子育て支援事業について。

**答弁** 子どもの健やかな育ちの支援を行っている。新生児聴覚検査やマスキリーニング助成を行っている。また各種予防接種助成や赤ちゃん訪問など多くの支援事業を行っている。

**質問** 各種支援事業や助成制度の一覧表の更新について。

**答弁** 地域懇談会時に変更点は示している。130周年記念誌として「暮らしの便利帳」を全戸配付予定である。

# 平成30年度繰越明許費(繰越事業)を可決！平成31年度へ繰越

## 平成31年第2回議会臨時会報告

平成31年第2回山江村議会臨時会が3月28日召集され、平成30年度山江村一般会計補正予算(第7号)及び平成30年度山江村特別会計ケーブルテレビ事業補正予算(第3号)を審議し、原案どおり可決決定しました。

今回の補正予算の主なものは、一般会計においては、地方交付税(特別交付税)の確定などにより、補正前の額に歳入歳出それぞれ67,642千円を増額し、総額を3,778,775千円としました。

また、特別会計ケーブルテレビ事業補正予算は、一般会計繰入金の調整によるものであり、補正前の額に歳入歳出それぞれ5,000千円を減額し、総額を102,525千円としました。

なお、平成30年度繰越明許(繰越事業)として、6事業を平成31年度事業へ繰越を決定しました。

### 平成30年度山江村一般会計補正予算(第7号)

#### ■歳入

【単位：千円】

区分	補正前の額	補正額	計	説明(主な内容)
地方譲与税	37,201	△1,168	36,033	地方揮発油譲与税ほか
地方交付税	1,500,714	80,281	1,580,995	特別交付税
交通安全対策特別交付金	631	△108	523	交通安全対策特別交付金
地方消費税交付金	52,600	2,727	55,327	地方消費税交付金
使用料及び手数料	45,772	△4	45,768	鳥獣飼養登録等申請手数料
国庫支出金	398,292	720	399,012	林業施設災害復旧事業補助金ほか
県支出金	205,475	△4,193	201,282	中山間農業モデル地区支援事業補助金ほか
財産収入	7,675	2,159	9,834	土地建物貸付収入過年度分ほか
寄附金	16,000	210	16,210	山江村ふるさと応援寄付金
繰入金	632,821	△1,439	631,382	山江村定住化促進基金ほか
諸収入	38,867	△43	38,824	栗技術指導員派遣受益者負担金
村債	366,100	△11,500	354,600	林業施設災害復旧費債ほか
歳入合計	3,711,133	67,642	3,778,775	

#### ■歳出

【単位：千円】

区分	補正前の額	補正額	計	説明(主な内容)
議会費	59,784	△630	59,154	普通旅費、交際費ほか
総務費	981,039	44,664	1,025,703	財政調整基金積立金ほか
民生費	671,575	144	671,719	県支出返還金ほか
衛生費	387,030	△200	386,830	合併処理浄化槽設置整備補助
農林水産業費	302,748	△6,199	296,549	中山間農業モデル地区支援事業補助金ほか
商工費	79,368	△130	79,238	修繕料
土木費	312,795	△3,500	309,295	村道新設改良工事
教育費	253,584	△4,092	249,492	学校給食食材購入助成金、機械機器点検整備委託ほか
災害復旧費	83,962	0	83,962	財源組替
予備費	76,427	37,585	114,012	予備費
歳出合計	3,711,133	67,642	3,778,775	

### 平成31年度への繰越明許(繰越事業)

【単位：千円】

事業名	金額
村道県道下段線下之段橋下部工(P2)事業	86,900
村道山江錦線道路舗装補修事業	13,500
ブロック塀等安全対策事業	4,500
山江中学校屋外トイレ新設事業	9,620
公共土木施設災害復旧事業	34,900
農林水産業施設災害復旧事業	12,380

# 「議員活動の1コマ」



総務文教常任委員会では、平成31年2月6日、玉名郡玉東町へ先進事例研修を行いました。研修内容としては、移住定住及び子育て支援等に関する取り組みの説明を受け、現地視察を行ったものです。宅地造成から分譲地販売に至る一連の事業では、将来を見据えた町の計画に基づき行われた事業であるとともに、民間を巻き込んだ政策も展開され、本村の政策にも役立つものが多い研修でありました。

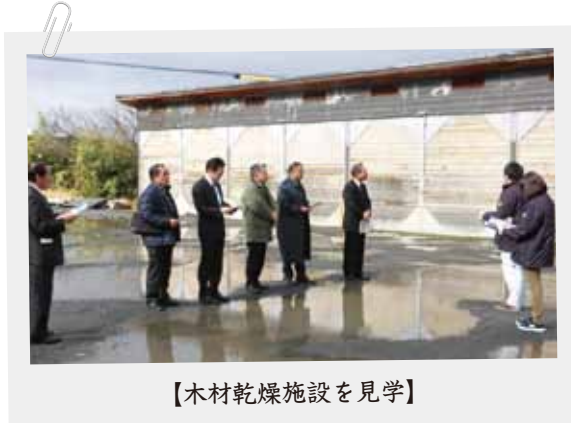
また、産業厚生常任委員会では、平成31年2月20日、阿蘇郡小国町へ先進事例研修を行いました。研修内容としては、山江村で調査を行っている自然エネルギー政策（木質バイオマス）の利活用と導入している施設の視察でした。薪ボイラーの導入により、重油の使用量削減につながる効果や町での林業施策についても先駆的なものが多く、林業活性化における意義のある研修となりました。



【移住定住促進事業の説明】



【資料を参考に説明を受ける】



【木材乾燥施設を見学】



【小国町役場で林業施策についての説明】

## だんだんなあ

いつしか、葉桜の季節となりました。

木の芽時の四月、小中学校の入学式に参加をし、児童生徒たちの礼儀正しく希望に満ちた姿を拝見し感動いたしました。

さて、議会広報誌「まるおか」が皆様の手元に届くころには、平成も終わり、新元号「令和」となっていることでしょう。万葉集からの出典で、初春の令月にして気淑く風和らぎ・から引用され、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味を込めたこの説明がありました。「令和」が、平穏で希望に満ちた素晴らしい時代であることを願います。

私たち広報委員も、四年の任期を終えるに当たり、開かれた議会を目指し、愛着を持っていただけるような議会広報誌となるよう努めてまいりました。今後、新体制のもとさらに山江村議会としても「未来輝く山江村」の実現と安心安全で豊かな暮らしやすい村づくりの推進に努めてまいります。今後とも相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

(文責 赤坂 修)

【議会広報委員】 委員長/立道 徹 副委員長/森田 俊介 委員/西 孝恒・赤坂 修